

平成 29 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C O O
 里 見 治 紀
 (コード番号 6 4 6 0 東証第一部)
 問 合 せ 先 上 席 執 行 役 員 財 務 経 理 本 部 長
 大 脇 洋 一
 (電話番号 0 3 - 6 2 1 5 - 9 9 5 5)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 380,000	百万円 20,000	百万円 16,000	百万円 11,000	円銭 46.93
今回発表予想 (B)	330,000	13,000	10,000	5,000	21.33
増減額 (B-A)	△50,000	△7,000	△6,000	△6,000	—
増減率 (%)	△13.2	△35.0	△37.5	△54.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	366,939	29,527	28,542	27,607	117.79

■修正の理由

遊技機事業において、平成 29 年 9 月 4 日に「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則（平成 29 年 国家公安委員会規則第 9 号）」が公布され、平成 30 年 2 月 1 日に施行されることとなりました。これを受け、下期以降の当グループの販売スケジュールを大幅に見直した結果、今期におけるパチスロ新作投入数は 10 タイトル（前回予想 11 タイトル）、パチンコ新作投入数は 5 タイトル（前回予想 7 タイトル）へと修正し、併せて、パチスロ販売台数は 8.9 万台（前回予想：15.8 万台）、パチンコ販売台数は 13.6 万台（前回予想：20.3 万台）へと修正することから、遊技機事業は前回予想を下回る見込みとなりました。

エンタテインメントコンテンツ事業においては、上期実績の時点で営業利益が前回の通期業績予想を超過するなど好調に推移しております。下期は、デジタルゲーム分野においては新作投入が期初の見込みより遅延傾向であるものの、主力タイトルを含めて新作タイトルの投入を進めるパッケージゲーム分野及びアミューズメント機器分野を中心に、エンタテインメントコンテンツ事業全体の営業利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

以上の結果、平成 30 年 3 月期通期連結売上高 3,300 億円（前回発表値と比較して 500 億円の減少）、営業利益 130 億円（前回発表値と比較して 70 億円の減少）、経常利益 100 億円（前回発表値と比較して 60 億円の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は 50 億円（前回発表値と比較して 60 億円の減少）となる見込みです。

なお、配当につきましては、期末配当 20 円（年間配当 40 円）の予想から変更はございません。

(参考情報：セグメント別内訳)

平成 30 年 3 月期通期業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	合計	380,000	330,000	△50,000
	遊技機事業	150,000	105,000	△45,000
	エンタテインメント コンテンツ事業	220,000	215,000	△5,000
	リゾート事業	10,000	10,000	—
営業利益	合計	20,000	13,000	△7,000
	遊技機事業	20,000	8,500	△11,500
	エンタテインメント コンテンツ事業	10,000	14,000	4,000
	リゾート事業	△3,000	△3,000	—
	その他/消去等	△7,000	△6,500	500

以上

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。